

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-528721(P2006-528721A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-530176(P2006-530176)

【国際特許分類】

C 08 F 297/04 (2006.01)

C 08 L 53/02 (2006.01)

【F I】

C 08 F 297/04

C 08 L 53/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月20日(2006.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カップリングしたブロックコポリマー組成物の製造方法であって、

a. 式 P - L i (式中、Pは、少なくとも1個の、8から18個の炭素原子を有する1種又は2種以上のモノアルケニルアレーンからなるポリマーブロックA及び少なくとも1個の、4から12個の炭素原子を有する1種又は2種以上の共役ジエンからなるポリマーブロックBを有するコポリマー鎖である)を有するリビングリチウム末端ポリマーを、式R - S i - (O R')₃ (式中、Rは、6から12個の炭素原子を有するアリール基又は1から12個の炭素原子を有する直鎖アルキル基及び分枝鎖アルキル基から選択され、及びR'は、1から4個の炭素原子を有する直鎖アルキル基から選択される)を有するアルコキシランカップリング剤と反応させ(ここで、S i 対 L i のモル比は、0.35から0.7である)、これによって、カップリングしたブロックコポリマー組成物を形成する工程、

b. 場合により、カップリングしたブロックコポリマー組成物を水素化する工程、並びに

c. 得られたカップリングしたブロックコポリマー組成物を回収する工程を含む方法。

【請求項2】

a. 一般式(P)₄Xによって表される四枝分かれブロックコポリマー(I V)、

b. 一般式(P)₃Xによって表される三枝分かれブロックコポリマー(I I I)、

c. 一般式(P)₂Xによって表される二枝分かれブロックコポリマー(I I)、及び

d. 一般式Pによって表される線状ブロックコポリマー(I) [但し、

i) Pは、25,000から200,000の数平均分子量を有し、及び少なくとも1個の、8から18個の炭素原子を有する1種又は2種以上のモノアルケニルアレーンからなるポリマーブロックA及び少なくとも1個の、4から12個の炭素原子を有する1種又は2種以上の共役ジエンからなるポリマーブロックBを有し、

ii) Xは、式R - S i - (O R')₃ (式中、Rは、6から12個の炭素原子を有するアリール基又は1から12個の炭素原子を有する直鎖アルキル基及び分枝鎖アルキル基

から選択され、及び R' は、1 から 4 個の炭素原子を有する直鎖アルキル基から選択される) を有するアルコキシランカップリング剤の部分を表し、及び

i i i) コポリマー I、II、III 及び IV の相対量は、0 から 5 重量パーセントの IV、0 から 10 重量パーセントの III、65 から 95 重量パーセントの II 及び 0 から 20 重量パーセントの I (但し、I、II、III 及び IV の合計は、100 重量パーセントに等しい) である]

を含む、ブロックコポリマー組成物。